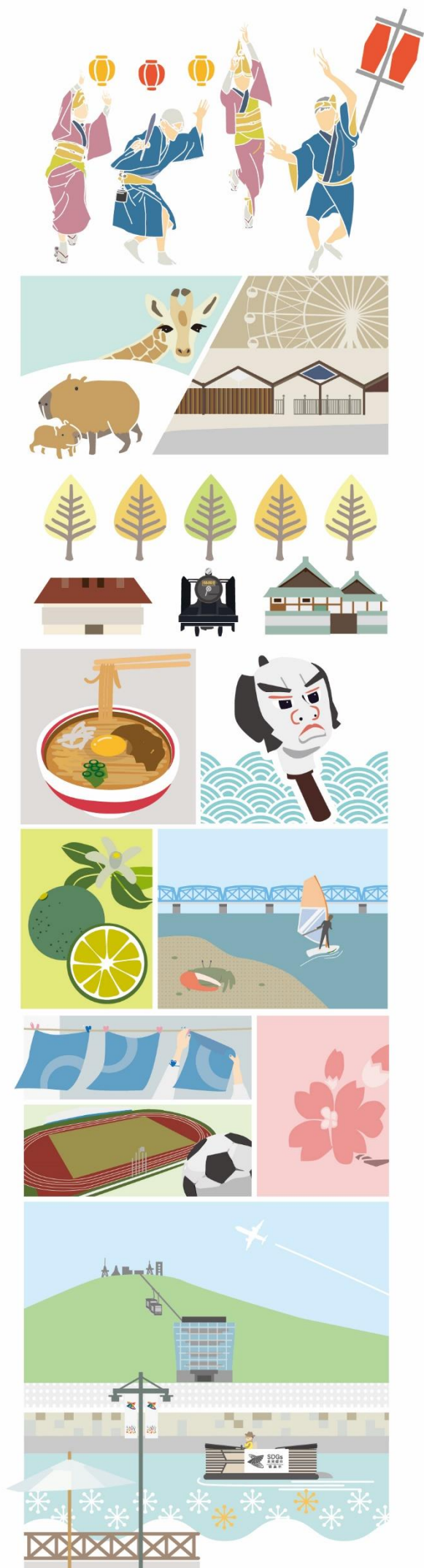


令和8年度に向けた国の予算及び施策に関する 重要事項要望書

令和8年度に向けた国の予算及び施策に関する



徳島市 Tokushima City

日ごろは徳島市政の推進につきまして、格別のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

我が国が本格的な人口減少・少子高齢化社会を迎える中、徳島市においても、産業をはじめとした様々な分野における人手不足が深刻化するとともに、市民生活に多大な影響を与える物価高騰や南海トラフ地震といった自然災害リスクの増大など、様々な課題が顕在化してきております。

こうした諸課題に迅速に対応し、将来にわたって持続可能な地域社会を維持していくため、徳島市では今年3月に新たな総合計画を策定いたしました。この計画では、目指す将来像を「おどる街 つながる笑顔 水都とくしま」と定め、「将来にわたって持続可能なまちづくり」、「安心して暮らせる強靱なまちづくり」、「多様な幸せを実現できるまちづくり」の3つの基本理念のもと、県都にふさわしい魅力と活力にあふれたまちづくりに、より一層取り組んでいく所存でございます。

しかしながら、この計画の推進に当たりましては、徳島市のみならず貴職との連携や更なるご支援が必要不可欠でございます。

つきましては、令和8年度の予算編成及び施策の決定に際し、このたび要望いたします重要事項について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年7月

徳島市長 遠藤 彰良

令和 8 年度に向けた
国の予算及び施策に関する重要要望事項
目次

主 管 省 庁 局	要 望 事 項	頁
文 部 科 学 省 初等中等教育局	学校給食費の無償化について	1
国 土 交 通 省 道 路 局	高規格道路網等の整備推進について	3
国 土 交 通 省 水管理・国土保全局	吉野川の直轄管理区間における洪水・地震津波対策の 促進について	7

学校給食費の無償化について

＜主管省庁局：文部科学省 初等中等教育局＞

【要望の趣旨】

すべての子どもたちが平等で健康的な食事を取り、学力の向上や食育による人間形成のため、また保護者負担の軽減のため、すべての自治体が一律に給食費の無償化が実現できるよう、国からの財政支援等を要望するもの。

現 況

○給食費

本市の令和7年度給食費相当額（年額）は、1食あたり小学校288円、中学校333円の食材料費に燃料費等を加え、**小学校72,135円、中学校85,861円（学校平均）**となっている

課 題

●自治体の財源確保

本市では経常的に**約13億円**必要となる自治体間に格差が生じることがないよう、全額の財政支援が必要

●無償化の早期実施

中学校を含めた早期実施が必要

国の指導や補助による全国一律の基準設定の必要がある

具体的要望内容

次の学校給食費における保護者負担の軽減及び平等な教育環境の確保のため、無償化実施においては、すべての自治体に地域の実情に応じた学校給食費全額の財政措置を講じるなどについて、特段のご配慮をお願いします。

- ① 徳島市では、学校給食の運営にかかる施設・設備の維持管理費や人件費については市が負担し、食材料費や燃料費は保護者が負担している。

現在、国会において、学校給食法の一部を改正する法律案についてご審議いただいているところであるが、無償化に係る国の支援の内容が、現在保護者が負担している食材料費や燃料費の一部のみとなり、残りの経費を自治体が負担することとなった場合、将来の財政運営を圧迫する恐れがあるため、それら経費全額の恒久的な無償化に向けた財政支援措置を講じること。

- ② 国会審議における首相答弁のなかで、まずは小学校を念頭にとの答弁がなされているが、学校給食は、学校教育活動の一環として切り離すことのできないものであり、教育の機会均等の立場からも、各自治体の規模や財政力による地域間格差から児童生徒が不利益を被ることのないよう、国の全面的な財政措置により中学校においても速やかに実施すること。



【徳島市担当部課】教育委員会 体育保健給食課

給食費無償化にかかる費用（令和7年度）

$$A : \text{小学校食材料費(合計)} = (a) \times (b) \times (c)$$

$$(a) \text{小学校児童数} : 11,017 \text{ 人} = 621,887,616 \text{ 円}$$

$$(b) \text{食材料費(単価)} : 288 \text{ 円}$$

$$(c) \text{給食実施日(年間)} : 196 \text{ 日}$$



$$B : \text{小学校燃料費(年額)} = 31,826,038 \text{ 円}$$



α

$$\begin{aligned} \text{小学校給食費(年額)} &= A : \text{食材料費} + B : \text{燃料費} \\ &= 653,713,654 \text{ 円} \end{aligned}$$

$$A' : \text{中学校食材料費(合計)} = (a') \times (b') \times (c')$$

$$(a') \text{中学校生徒数} : 5,438 \text{ 人} = 354,927,384 \text{ 円}$$

$$(b') \text{食材料費(単価)} : 333 \text{ 円}$$

$$(c') \text{給食実施日(年間)} : 196 \text{ 日}$$



$$B' : \text{中学校燃料費} = 15,063,114 \text{ 円}$$



β

$$\begin{aligned} \text{中学校給食費(年額)} &= A' : \text{食材料費} + (B') : \text{燃料費} \\ &= 369,990,498 \text{ 円} \end{aligned}$$

θ

$$\text{物価高騰による給食費補助額} = 234,704,000 \text{ 円}$$

α

+

β

+

θ

$$\text{給食費無償化費用} = 1,258,408,152 \text{ 円}$$

高規格道路網等の整備推進について

< 主管省庁局：国土交通省 道路局 >

【要望の趣旨】

本市においては、頻発・激甚化する自然災害への対応、物価高騰が生活・産業へ及ぼす影響への対応、さらには急速な人口減少と地域経済の衰退など、複合的な課題への対応が求められている。

このような状況下において、高規格道路網等の整備推進は極めて重要であり、地方創生の取組と国土強靱化の一体的推進を図るため、迅速かつ適確な事業の執行と必要な予算・財源の確保を要望するもの。

現 況

- 徳島環状道路（南環状道路）
⇒ 徳島市中心部の国道 11、55、192 号では、交通集中による慢性的な交通渋滞や、県内直轄国道の死傷事故率ワースト 10 のうち 6 区間存在。
- 徳島南部自動車道
⇒ 徳島津田 IC～阿南 IC 間は整備中。
⇒ 徳島 JCT～徳島沖洲 IC 間が令和 4 年 3 月に開通。
- 徳島自動車道
⇒ 速度低下の一因となるサグが多数存在。
⇒ 暫定 2 車線区間が約 8 割。
⇒ 通行止めによる運用率の悪い区間が多数存在。

課 題

- 徳島環状道路（南環状道路）
⇒ 徳島市中心部への流入交通を分散し、国道や周辺道路の交通渋滞を緩和させることが必要。
- 徳島南部自動車道
⇒ 信頼性の高い緊急輸送道路や災害時のリダンダンシーの確保が必要。
⇒ 高規格道路、空港及び港湾を生かした経済活性化が必要。
- 徳島自動車道
⇒ 時間信頼性、安全性の向上と災害時の早期交通機能の確保が必要。

**地方創生の取組と国土強靱化の一体的推進を図るには
迅速かつ適確な高規格道路網等の整備が必要である**

具体的要望内容

次について、特段のご配慮をお願いします。

1. 高規格道路網等の整備推進について
 - (1) 徳島南環状道路の整備を推進し、「開通見通し」を早期に公表すること
 - (2) 徳島南部自動車道の整備を推進するとともに、「徳島津田 IC～小松島 IC 間」を集中的に促進すること
 - (3) 徳島自動車道の早期 4 車線化を図ること
2. 道路関係予算の確保について
 - (1) 「国土強靱化実施中期計画」に必要な予算・財源については、通常予算とは「別枠で確実に確保」すること
 - (2) 迅速かつ適確な事業執行のため、今後の予算編成にあたっては、道路関係予算総額を満額確保するとともに、四国地方整備局において、増員など組織体制の充実・強化を図ること
 - (3) 料金徴収期間の延長による財源を活用し、暫定 2 車線区間の 4 車線化に必要な財源の安定的な確保を図り、機能強化を着実に進めること

【徳島市担当部課】 都市建設部 道路建設課

『地方創生』を実現し、地域の生産性向上を図る 『徳島南環状道路』の早期整備を！！

徳島市中心部渋滞状況

一般国道11号 徳島市徳島本町1丁目付近



路線名	番号	観測地点	地名	平日24時間 交通量(台/日)
一般国道55号	①	徳島市八万町大野149地先		50,383
	②	徳島市川内町鶴島107番地先		51,556
一般国道11号	③	徳島市東吉野町2丁目		57,963
	④	徳島市徳島本町1丁目15地先		48,608
一般国道192号	⑤	徳島市国府町観音寺238地先		18,340
	⑥	徳島市庄町3丁目5番地先		27,927
	⑦	徳島市南出来島町1丁目38-7番地先		29,465

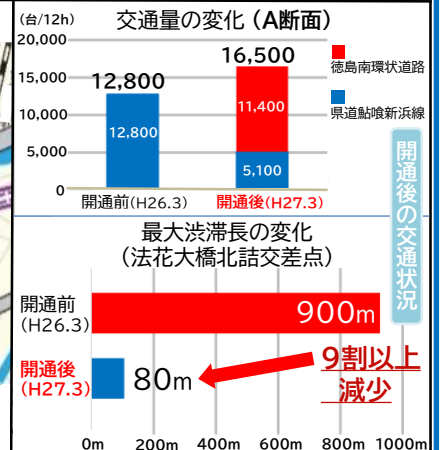
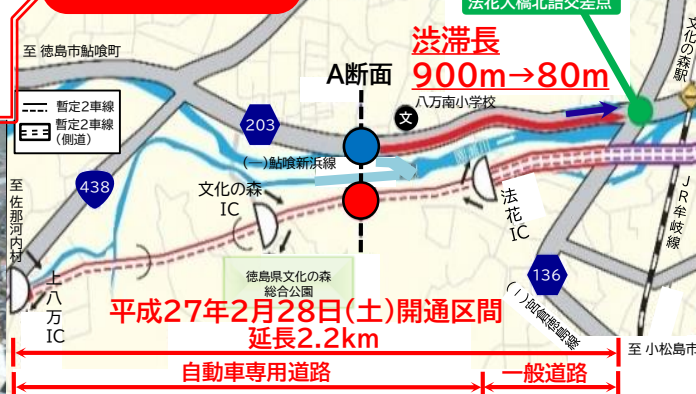
※R3年度 全国道路・街路交通情勢調査より

徳島外環状道路(約35km)



徳島南環状道路
上八万IC～
八万町橋北間
(H27.2月供用)

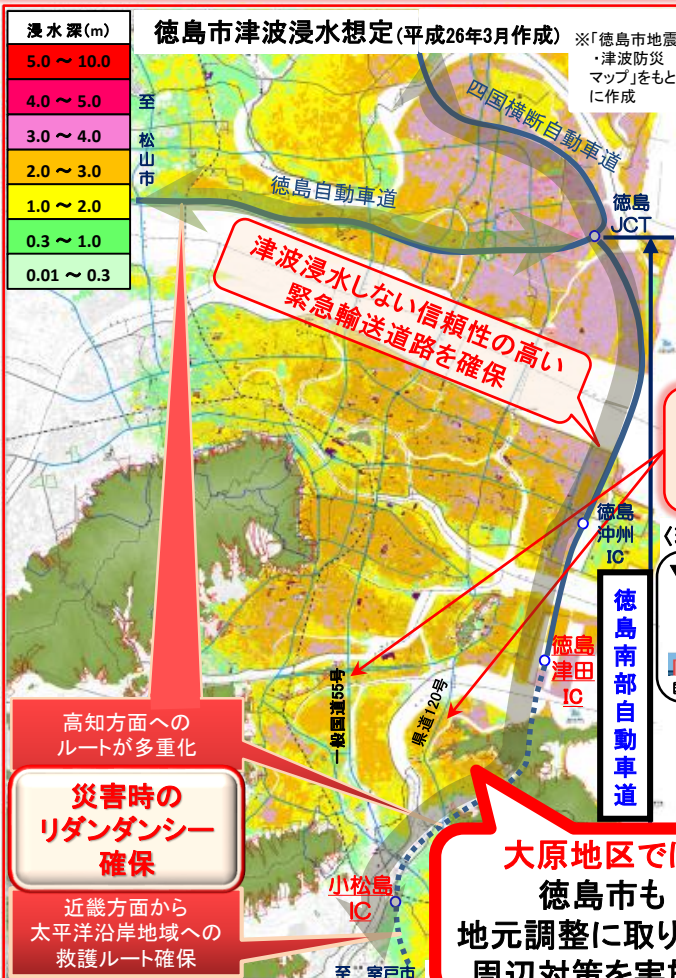
部分開通による効果



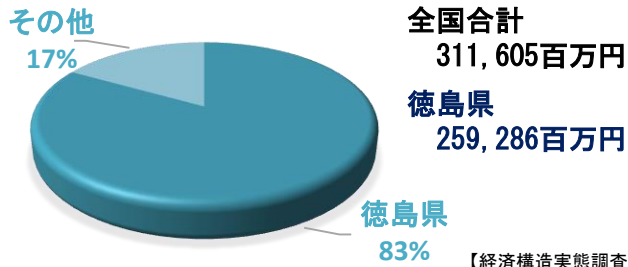
徳島南部自動車道の早期整備により 緊急輸送道路、リダンダンシーを確保！！ アクセス性の向上による地域経済活性化の期待！

津波浸水が想定される現道区間を
回避するルートの確保
『徳島津田IC～小松島IC間』の集中的な整備促進

徳島県では、H17にLEDパレイ構想を策定
徳島JCT～徳島沖洲IC間の開通(R4.3)を契機に
LED出荷額増額の弾みと地域活性化に寄与



LED出荷額
国内71位 (R4)



LED関連企業の
立地件数推移(徳島県)



徳島津田IC(フル化)許可を契機に
「陸・海・空の結節点」をより強化

徳島阿波おどり空港



H30.1 国際線ターミナル完成

鳴門JCT～徳島IC
L=10.9kr
H27.3開通

徳島JCT～徳島沖洲IC
L=4.7km
R4.3開通

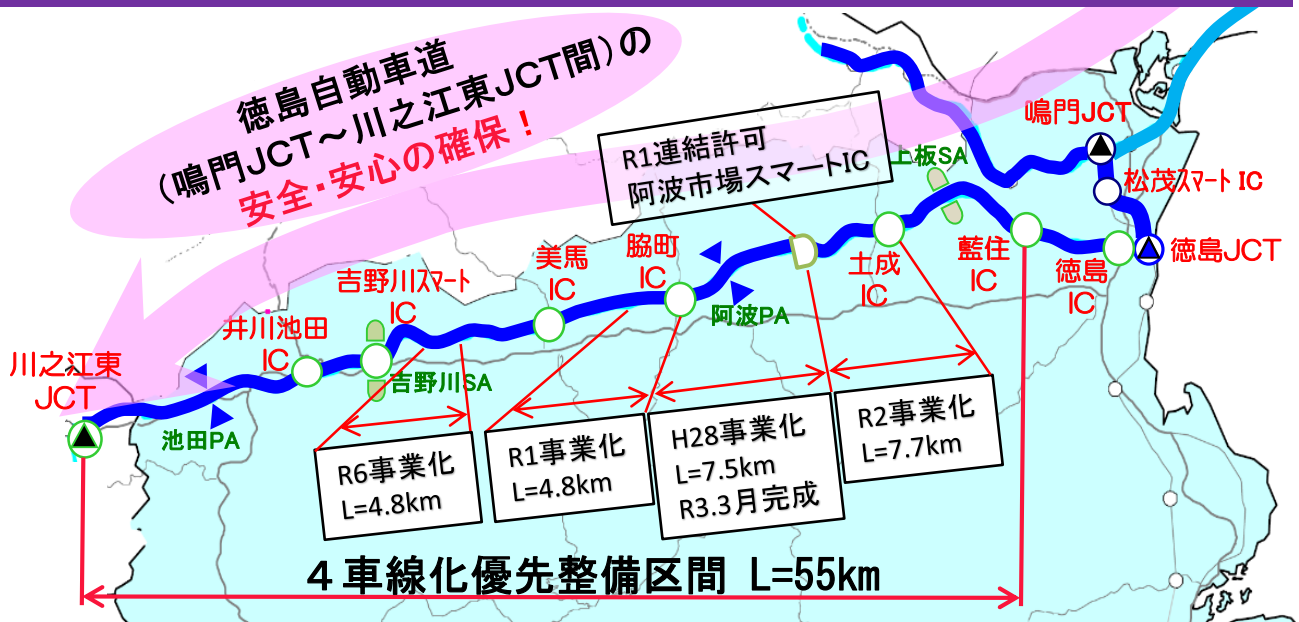
徳島沖洲IC～徳島津田IC
L=2.4km
R3.3開通

徳島津田IC～小松島IC
L=4.9km

● LED関連企業

※上記地図は、国土地理院ホームページ (<http://maps.gsi.go.jp>) をもとに作成。

4車線化により時間信頼性の向上、安全性の向上、 災害時の早期交通機能の確保を！



●徳島自動車道 各IC間の課題の評価一覧 (高速道路における安全・安心基本計画)

区 間		暫定2車線のIC間延長 [km]	対面通行 区間延長 [km]	時間信頼性の確保の観点		事故防止の観点		ネットワークの代替性 確保の観点
自	至			25%以上 速度 低下区間 延長 ※交通量5000 台/日 未満除く	渋滞回数	死傷事故 件数	死傷事故 率	運用率 (年間通行止め時間) ※工事除く
川之江東JCT	井川池田	22	19	A	C	A	C	A
井川池田	吉野川スマート	5	3	C	D	B	B	A
吉野川スマート	美馬	16	11	A	C	B	C	A
美馬	脇町	12	5	B	D	A	B	B
脇町	土成	19	8	A	B	A	B	B
土成	藍住	13	9	A	B	C	C	B

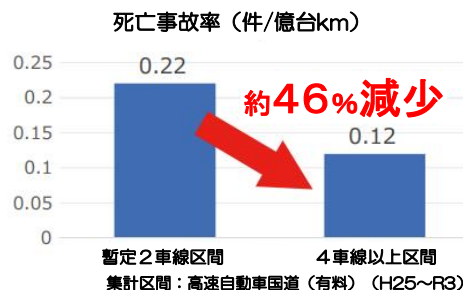
【国土交通省資料を加工】

●4車線化で期待される整備効果

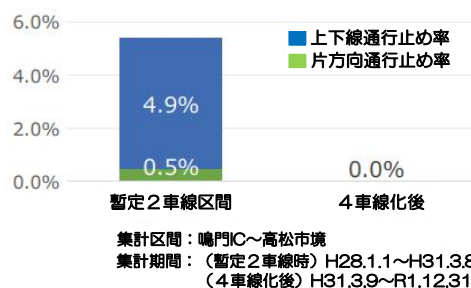
<速度低下の解消>



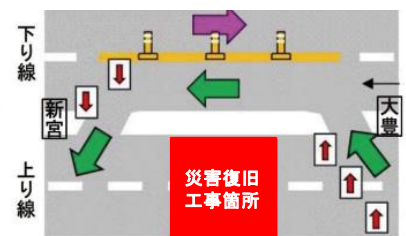
<安全性の向上>



交通事故発生時に通行止めとなる割合



<災害時の早期交通機能確保>



「平成30年7月豪雨」の被災事例 (高知道)

対面通行で 通行帯を確保



4車線区間では、上下線のいずれかが被災しても残る車線を対面通行とすることで、早期に交通機能を確保し、復旧支援や緊急物資運搬等に大きく貢献できます。

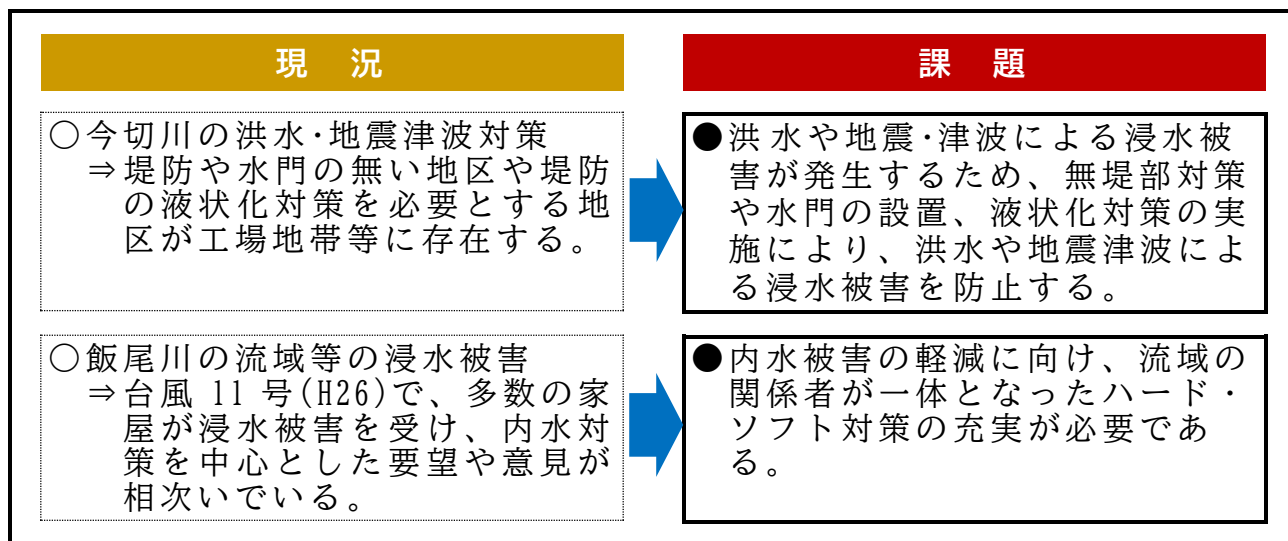
【資料：NEXCO西日本 徳島自動車道 全線開通10周年 整備効果】

吉野川の直轄管理区間における 洪水・地震津波対策の促進について

< 主管省庁局：国土交通省 水管理・国土保全局 >

【要望の趣旨】

台風等の洪水による浸水被害や今後想定される南海トラフ巨大地震の津波被害の軽減を図るため、吉野川・今切川において必要な対策の計画的な実施に向け、治水事業費の予算確保について要望するとともに、直轄河川改修事業等の整備促進を要望するもの。



市民の安全で安心な生活を確保するため対策が必要である

具体的要望内容

徳島市は、雨水貯留施設や排水施設等の整備、県が主催する飯尾川流域治水勉強会への参加など、国や県と一体となって流域治水を推進しております。今後も更に流域治水を加速化・深化させるべく、市における流域対策も取り組みますので、国においても、吉野川・今切川における直轄河川改修事業等の整備促進と新規箇所の早期事業化について、特段のご配慮をお願いいたします。

- ① 今切川の洪水・地震津波対策
 - ・今切川の無堤地区への堤防整備及び堤防耐震対策の促進
 - ・今切川右岸榎瀬江湖川合流点への水門の新設
 - ・今切川右岸宮島江湖川合流点への水門の新設
- ② 内水対策
 - ・角ノ瀬排水機場の能力向上(20 m³/s→40 m³/s)
 - ・榎瀬江湖川における排水機場の新設
 - ・宮島江湖川における排水機場の新設
 - ・老朽化が進む排水機場の更新

近年の気候変動による水災害の激甚化・頻発化を踏まえ、防災・減災が主流となる安全・安心な社会の実現に向けて、流域治水対策の加速化を図るために必要な治水事業予算の最大限の確保、堤防等河川管理施設の適切な維持管理の水準確保、四国地方整備局や各事務所の職員の増強など組織体制の充実・強化をお願いいたします。

【徳島市担当部課】 都市建設部 河川水路課



吉野川水系流域治水プロジェクト

～日本一の暴れ川から命と資産を守る治水対策～

○徳島市では、浸水区域の解消や浸水被害の軽減を図るため、氾濫を防ぐ・減らす取組として、雨水排水施設(川内地区)の整備やポンプ場設備の増設(加茂地区)を実施するとともに、被害対象を減らす、被害の軽減・早期復旧・復興の取組として、立地適正化計画による防災まちづくりやワンコイン浸水センサによるリアルタイムでの情報把握を実施していきます。

○市独自の取り組みとして、「徳島市流域治水検討会議」で関係部局と連携体制を構築し、更なる流域治水対策を推進します。

位置図(徳島市)



氾濫を防ぐ・減らす

① 雨水排水施設整備(川内地区)



② ポンプ場設備増設(加茂地区)

被害の軽減・早期復旧・復興

被害対象を減らす

被害対象を減らす

・立地適正化計画による防災まちづくり



(取組状況)

・立地適正化計画に基づくコンパクトで安全・安心なまちづくりの推進のため、防災・減災対策に計画的かつ着実に取り組むことを目的とした「防災指針」を作成した。

(目標)

・地域の災害特性を踏まえつつ、ハード・ソフト両面からの総合的な防災・減災対策により、災害リスクの回避・低減を図り、被害を最小限に抑える強靱なまちづくりを目指す。

徳島市立地適正化計画より



センサ設置例

● センサ設置箇所

■ 浸水把握必要エリア

